

# 青梅街道を歩く④河辺駅～二俣尾駅

開催日：2025年2月22日（土） 曇り 一般 18000歩 約11Km

集合：JR青梅線河辺駅 10時30分

コース：河辺駅→河辺北大通り→旧青梅街道に入る→道間公園<sup>🏞️</sup>（ストレッチ）→追分→六万薬師堂→東青梅駅前→猫のアートやオブジェの商店街→住吉神社→白木屋呉服店→青梅駅前（青梅宿）→仲町ポケットパーク<sup>🌳</sup>（昼食）→街並み探訪→旧稲葉家住宅→中武馬車鉄道駅石碑→森下陣屋跡・熊野神社→金剛寺・青梅の古木→熊野神社→七兵衛公園→日向和田駅<sup>🚉</sup>→へそまんじゅう総本舗→横吹第二踏切→横吹の大イヌグス→石神社・大イチョウ→海禅寺→二俣尾駅

参加者：熊坂L 飯倉SL 市村 丹後 奥村 山田 畠 高橋友 脇坂 内海 山口 篠 入江 永由 沼津 田村 村上美 村上毅 今回入会/稲葉 計19名

4ヵ月ぶりの「青梅街道を歩く」、4回目はJR青梅線河辺駅から青梅街道5番目の宿場町青梅宿を経て二俣尾駅までのコース。自治体では青梅市を東から西へ歩きます。楽しかった「青梅街道を歩く④」、一つ目は道を色々知ることができました。追分道標では、東へ進む飯能・川越への道がありました。日向和田駅前の「吉野梅郷ノ図」を見て、東西に北側から、昨年歩いた青梅丘陵、JR青梅線、青梅街道、多摩川、吉野街道、奥多摩の山並みを確認。図には描かれていない南側に五日市街道、内藤新宿の追分で分かれた甲州街道はさらに南側、青梅街道を歩く最終回の酒折（甲府市）で再び合流します。二つ目は青梅の歴史を知ることができました。白木屋呉服店や旧稲葉家住宅見学で宿場町の雰囲気味わい。青梅では養蚕が盛んでネズミ除けのために猫が飼われ、その影響で猫アートやオブジェが溢れている。金剛寺では本堂前に梅の古木が「青梅市の地名由来」等々。三つ目は、曇り時折り小雪が舞う寒さも思い出に残るウォーキングでした。



金剛寺・青梅の古木

# 河辺駅10時45分～河辺北大通り～旧青梅街道～道間公園～追分～六万薬師堂

集合は河辺（かべ）駅改札、三角屋根の橋上駅舎です。北口の空きスペースで熊坂リーダーがコース説明。10時45分にスタート、駅前から河辺北大通りを北に進みます。「駅前にはビルが多く商店街も賑やかだね」の声が。河辺駅の一日の平均乗車客は約1万2000人（2023年）、青梅駅5300人の2倍以上。快速電車で立川へ30分、新宿へ1時間10分で、東京への通勤圏内のような。青梅街道を横切り、スーパー「いなげや」のところを左へ曲がり江戸道（旧青梅街道）を西へ進みます。道間公園に入り、奥村さんのリードでストレッチ。小枝にとまる雀が羽毛を含まらせて寒さをしのいでいるようでした。街道を10分ほど歩くと追分道標があり、飯能・川越への追分に出ました。さらに5分ほど歩いて六万薬師堂へ到着です。



## 六万薬師堂～東青梅駅前～猫のアートやオブジェの商店街～住吉神社

六万薬師堂を出て少し進むと東青梅駅前へ出ました。青梅線の線路を渡り、街道は青梅線の南側を西へ延びています。青梅は戦前まで養蚕が盛んな織物の町で、鼠よけで猫が飼われていて猫との繋がりがとても強く、商店街へ入ると猫のアートやオブジェが目立つようになりました。壁に能面などが飾られている民家や、趣のある旧家のたたずまい、昔懐かしい看板を思い起こす手造り猫看板などを楽しみながら12時丁度、住吉神社に到着。急な石段参道を上ります。住吉神社は、応安2年（1369）に創建、青梅宿の総鎮守です。石段参道のところで集合写真を撮影、社殿が写らず残念、でもみなさんの足がすらりと長く映りました。



# 白木屋呉服店前～青梅駅前～仲町ポケットパークで昼食～街並み探訪

社殿横から下って行くと熊坂さんが「途中で懐かしいものが見えるよ」と、なんと昨年10月の青梅丘陵ハイキングでアフターを行った「としまや」の暖簾が眼下に見えました。再び街道に戻り白木屋呉服店前へ、リーダーから「白木屋は江戸時代に青梅縞を集めて江戸の白木屋に送っていた」と説明がありました。青梅市本町の住居表示があり青梅駅前へ、この辺りが青梅宿の中心だったようです。12時30分、仲町ポケットパークで昼食タイム。風はないが曇っていて冷え込む陽気、少し戻って街並み探訪。左から2階が人造石バルコニーの元「ほていや玩具店」、右が元「森泉人形店」、右端が元「柏倉洋品店」です。再び西へ、漆喰壁の「瀧島家住宅」、明治7年（1874年）に建てられた「柳屋米店」前を通りました。



# 旧稲葉家住宅～中武馬車鉄道駅石碑～森下陣屋跡・熊野神社

「柳屋米店」前から3～4分進み旧稲葉家住宅へ、石柱に「東京都指定有形民俗文化財」と刻まれています。説明板に「稲葉家は江戸時代に青梅宿の町年寄りを務めた家柄で青梅でも有数な豪商でした。土蔵造り2階建ての主屋、門、棟割長屋が並び、主屋の東側に井戸と、北側には土蔵が・・・」と記されています。くぐり戸から中へ入ると七段飾りのひな人形が出されていて、主屋裏の土蔵では壁の修繕中でした。少し進んで「リカーステーション岡崎」前に「中武馬車鉄道の駅が有った」と記した石碑が建っていました。枡形のところを進んで森下陣屋跡へ、天正18年(1590年)に家康が関東に入国してまもなく八王子に代官所を設置、青梅には陣屋を設けました。現在は陣屋の敷地の鎮守と伝えられる熊野神社が祀られています。



# 金剛寺 青梅の古木～熊野神社～七兵衛公園～日向和田駅

少し戻り旧青梅街道を外れ、南方向へ坂道を下りて金剛寺を訪れます。本堂前に梅の古木が花を咲かせていました。平安時代に活躍し平将門の伝説を持つ古木です。この梅は季節が過ぎても黄熟せず、秋になっても青かったことから「青梅」と称せられ 青梅市の地名もこれによって付けられたとされています。その梅を背景に集合写真をパチリ。金剛寺を出て再び旧青梅街道へ、「とうふ工房ゆう」で豆腐やドーナツなどのお買い物タイム。中里介山作「大菩薩峠」に登場する裏宿七兵衛、その住居跡の七兵衛公園で小休憩。ここから緩やかな上り道をひたすら歩くこと30分ほど、14時53分に日向和田駅に着きました。



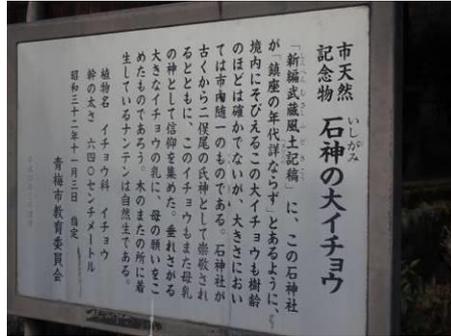
# 吉野梅郷ノ図～へそまんじゅう総本舗～横吹第二踏切～横吹の大イヌグス

懐かしの日向和田駅、駅前に「吉野梅郷ノ図」が掲示されていました。7年前の2018年3月17日、「多摩川を歩く⑥」は日向和田駅からスタート。駅横の空きスペースでストレッチをして、図左下にある神代橋を渡り梅の公園に向かい、多摩川沿い南側の吉野街道を歩き、図右の軍畑方面へ歩きました。図右上には昨年4月27日に登った日の出山と御岳山が描かれています。そんな思いにふけっているとスタートの時間に、少し歩いて日向和田駅信号のところにある「へそまんじゅう総本舗」へ。みなさん、蒸したてのまんじゅうを購入して美味しくいただきました。地図は最終ページの4ページに入りました。横吹第二踏切を渡り青梅線北側へ、幹回り3・6m、樹高7mの「横吹の大イヌグス」の巨木が立っていました。



# 石神社の大イチョウ～海禅寺～16時10分 二俣尾駅 歩数1万8000歩

石神社へ到着、時刻は15時30分。境内に市天然記念物の大イチョウがそびえていました。青梅線滝沢ガード下を通り、線路北側を西へ。15時55分、城壁のような石垣の海禅寺へ。ウォーキング最後に急峻な石段参道が待っていました。みなさん元気に上って行きます。参拝をして石段参道を下りて来る4人を写真に収めました。少し歩いて16時10分、ゴールの二俣尾駅に到着。歩数1万8000歩、距離11Kmの「青梅街道を歩く④」でした。



(市村記)